

性の多様性からインクルーシブな日本語教育を考える

INCLUSIVE JAPANESE EDUCATION AND GENDER/SEXUAL DIVERSITY

無意識の差別、周縁化、 マイクロアグレッションについて考える

UNINTENTIONAL DISCRIMINATION, MARGINALIZATION,
AND MACROAGGRESSION

望月良浩 (mochiey@umich.edu)

University of Michigan



Scan me

本日の発表

1. はじめに
問題提起・ゴール・キーワード



2. 先行研究
性的マイノリティに関する用語



3. ケースメソッド
無意識の差別 (unintentional discrimination)
周縁化 (marginalization)
マイクロアグレッション (macroaggression)

4. まとめ
ディスカッショントピック



Scan me

問題提起

単語小テストの設問

私の（ ）は、日本人の男の人とけっこんしました。

- a. あに b. あね c. おねえさん

作成中の小テストにこのような設問があったら、
どのようなフィードバックを与えますか。

ゴール

- 性的マイノリティの学習者にとって居心地の良い学習環境を作るために何ができるかを考える
 - 教室における性的マイノリティの存在を認識する
 - 自身が行っているかもしれない無意識の差別・周縁化・マイクロアグレッションに意識的になる



キーワード

キーワード

無意識の差別 (unintentional discrimination)

周縁化 (marginalization)

マイクロアグレッション (microaggression)



性的マイノリティの学習者にとって居心地の良い学習環境って？



どのような出来事や行為、言葉が、性的マイノリティ当事者を傷つけ、悲しませ、怒らせるのか。

性とは

- 生物学的性 (Sex)
- 社会的性 (Gender)
- 性自認 (Gender Identity)
- 性的指向 (Sexual Orientation)



生物学的性・社会的性

■生物学的性 (Sex)

「日常のあらゆる場面において、人は男か女のどちらかであることが前提とされている」有森 (2019)

■社会的性 (Gender)

「性的マイノリティにとっては、この社会規範としての『女らしさ』『男らしさ』が『自分らしさ』と対立する場合があります、そこに生きづらさが生じる」有森 (2019)

性自認・性的指向

■性自認 (Gender Identity)

トランスジェンダー 生物学的性 ≠ 社会的性

シスジェンダー 生物学的性 = 社会的性

■性的指向 (Sexual Orientation)

性的嗜好ではないので、注意



81通りのセクシュアリティ (Sexuality)
シスジェンダーのゲイ男性

LGBTQ



レズビアン

- 自分の性自認や性的指向について、確信のない人や模索中の人、自分を一つのカテゴリーに分類することに迷いのある人



ゲイ



バイセクシュアル

- 性的マイノリティがあえて自身を指す言葉として使うようになったもの



トランスジェンダー

- 性的マイノリティの総称として使われることもある



クエスチョニング・クィア



先行研究

山川（2019）

- 「性の多様化と同時に自己表現も多様化している」
- 「教師は常にオープンマインドで多様なジェンダーを持つ学習者がクラスに存在することを前提に授業を進めていくことが必要である」

周縁化

周縁化 (marginalization)

➡ 中心から取り残されること、社会的無視
いないものとして扱われる感じ

私の（ ）は、日本人の男の人とけっこんしました。

a. あに b. あね c. おねえさん

周縁化と無意識の差別

- 周縁化を含む無意識の差別 (unintentional discrimination) は、無意識であるゆえに誰でも犯してしまう危険性がある
- 性的指向による違いは、「人種差別」や「男女差別」に比較すると実態が見えにくく、無意識のうちに差別が生じる危険性が高い

周縁化：教科書における性的マイノリティの不在

山川（2019）

- 「少しでも LGBTQ に触れる内容があればいいと思う」
- 「ジェンダーに関する用語を掲載してほしい」

米東部のある大学での教科書分析

- 「同性愛者も日本語を学びたがっているし、同性愛者は日本にも住んでいるはずなのに、同性愛者の存在しない教科書は日本の文化の全てを紹介していない」

周縁化：教科書における性的マイノリティの不在

本学でのアンケート

- Having a LGBTQ character or topic in the textbook would be greatly beneficial to students using the textbook.
- There is no good reason why there should not be an LGBTQ character in textbooks. Having such a character would add another anchor to which students could relate and attach themselves and use to advance their understanding of the language
- The willing inclusion of characters with varied backgrounds, ideologies, and identities in the learning/teaching process is one of the many ways instruction can adjust to the changing times.

無意識の差別：好意的差別

好意的差別：対象となる人を美化し理想化した偏見

■ゲイの男性

おしゃれ、ユーモアがある 男女両方の視点

■日本のメディア

笑い、オネエ、みんな個性的でおもしろい

同性愛者を戯画化し嘲笑するキャラクター



セクシュアリティによる決めつけやステレオタイプをなくそう！

マイクロアグレッション

マイクロ アグレッション

小さい

攻撃

- 日々のありふれた言動などに現れる小さな侮蔑的な行為
- 差別される側に向けられた敵対的、中傷的、否定的なメッセージが含まれる

マイクロアグレッションの例

差別される対象	マイクロアグレッション	否定的なメッセージ
アジア系アメリカ人	本当の出身はどこ？	あなたはアメリカ人ではない・よそ者である
性的マイノリティ	結婚や伝統的な家族形態に関する質問	異性婚約が本来の姿であり、同性婚やパートナーシップは重要ではない
女性 トランスジェンダー	(総称の) 三人称として「he」を無条件に使う	シスジェンダーの男性の経験が普遍 それ以外の経験は無意味

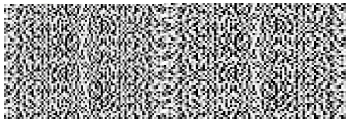
マイクロアグレッション

- 行う側は無自覚
 - 一つ一つは小さなこと
 - 積みり積もって、心身にストレスが鬱積
- 
 怒りや諦め
 過剰反応とみなされる

山川 (2019)

「教科書はあくまで教科書であって、内容にはあまり期待しない」
 「教科書に記載されている内容はステレオタイプだと思う」

無意識の差別・周縁化・マイクロアグレッション



上司に叱られた。
オカマをほられた。(車)
友達に殴られた。

こういう文が日本語には多いです。

英語は、叱った人、ほった人(ぶつけた人)、殴った人を主語にするのが自然ですね。

- 本人に差別意識はない(無意識の差別)
- この方がツイートが伸びる。ツイートを見て傷つくマイノリティのことは考えていない(周縁化)
- 性的マイノリティの侮蔑語→インパクトのある笑い(マイクロアグレッション)



無意識の差別・周縁化・マイクロアグレッション

日本では同性愛や同性愛者は一般的ではない。
私の周りにはいない。
見たことも聞いたこともない。



- 本人に差別意識はない(無意識の差別)
- 本来なら見えるはず、気付けるはずの性的マイノリティを、先入観から見えないものとして扱っている(周縁化)
- このような発言は何度も経験している(マイクロアグレッション)



まとめ

- 性の多様性だけに関わらず、どの学習者にとっても安心できる、学びやすい学習環境づくり
- 教師が「当たり前」を疑問視
- 性的マイノリティに対する鋭い人権意識

→ どの学習者にとっても学びやすい
インクルーシブな教室コミュニティ
学習者達は安心して学習活動に励める



Further Reading

ゴール確認

- 性的マイノリティの学習者にとって居心地の良い学習環境を作るために何ができるかを考える
- ・ 教室における性的マイノリティの存在を認識する
・ 自身が行っているかもしれない無意識の差別・周縁化・マイクロアグレッションに意識的になる



Scan me

ディスカッショントピック

- 皆さんの実際の経験の中で、無意識の差別・周縁化・マイクロアグレッションに該当すると思われる事柄はありますか。考えてみてください。



参考文献

- 有森丈太郎 (2017) 「ジェンダー・アイデンティティの多様性から考える日本語教育」 *Canadian Association for Japanese Language Education Annual Conference Proceedings*.
- 有森丈太郎 (2019) 『つながろうねっと勉強会「性の多様性を踏まえた日本語教育」活動報告』
- 金友子 (2016) 「マイクロアグレッション概念の射程」文化・社会運動研究における『アイデンティティの政治』の再文脈化 研究成果報告書 pp.105-122.
- 山川礼 (2019) 「多様化するジェンダーを学習者の視点から考える」 *The 25th Princeton Japanese Pedagogy Forum Proceedings*.
- Brown, Lucien; Cheek, Elizabeth (2017). "Gender Identity in a Second Language: The Use of First Person Pronouns by Male Learners of Japanese." *Journal of Language, Identity and Education*, pp.94-108.
- Moor, A. R. (2019). "Interpersonal Factors Affecting Queer Second or Foreign Language Learners' Identity Management in Class." *The Modern Language Journal*. 103 (2), 428-442.
- Oluo, Ijeoma (2018) *So You Want to Talk About Race*.